



2016

第45号

5月1日



# 市議会だより

希望に輝く1年生!  
(柳津小学校入学式)



## 目次

28年度各種会計当初予算を可決 .....	2
新年度予算を手エツク .....	4
常任委員会活動報告 .....	8
会派代表質問 .....	12
ここが聞きたい(一般質問) .....	15

# 総額932億円を可決



起立採決（H28病院事業会計）

# 第3子以降の誕生に 誕生祝金10万円を支給

**10年後の未来に向けたまちづくり**  
市長は、施政方針で第二次総合計画の推進に、5つの重点戦略を打ち出し、今後10年の目標を示しました。

**1 子育て応援**  
出生者数を6000人以上に

- ・未婚・晩婚化への対応。
- ・第3子以降に誕生祝い金。
- ・第2子の保育料、幼稚園授業料、給食費を半額とし、第3子以降は無料化。
- ・認定こども園を整備。

**2 健康長寿**  
平均寿命を県内平均以上に

- ・気軽にスポーツに親しめる環境づくりを推進。
- ・高齢者を地域で支える仕組みづくりを強化。
- ・地域包括ケア体制の充実、パークゴルフ場の整備。

**3 企業誘致と産業振興**  
雇用創出400人以上に

- ・企業誘致と既存企業を支援。
- ・創業間もない企業に対し、人材確保に要する人件費を助成。
- ・事業所の開設を支援、建物や設備の取得などに助成。
- ・農産物、食材の販路拡大。
- ・工業団地の整備。

**4 移住・定住を支援**  
移住・定住者を1000人以上に

- ・移住・定住者に住宅取得費用や家賃を助成。
- ・空き家情報の充実と改修費用を助成。
- ・旧米山高校跡地に住宅用地を整備。

**5 市の魅力向上**  
交流人口を310万人以上に

- ・三陸縦貫自動車道に「道の駅」を整備。
- ・シテイプロモーションにより食、自然、文化や歴史など地域資源の活用。地域ブランド力を強化。

## ■平成28年度 各種会計の当初予算額

会計名	予算額(千円)	伸び率(%)	
一般会計	48,864,602	5.9	
特別会計	国民健康保険	11,418,815	△ 6.7
	後期高齢者医療	790,460	△ 0.8
	介護保険	9,128,502	2.5
	土地取得	820,128	△ 25.2
	下水道事業	5,073,165	△ 2.9
	宅地造成事業	854,561	△ 24.7
	小計	28,085,631	△ 4.5
企業会計	水道事業	5,273,797	△ 5.1
	病院事業	10,566,186	17.5
	老人保健施設事業	487,468	4.2
	小計	16,327,451	8.7
合計	93,277,684	3.0	

平成28年2月定期議会は、2月4日から3月9日までの35日間で開催されました。本定期議会では、副市長2人制の同意や誕生祝金条例の制定、パークゴルフ場に関する請願のほか、27年度補正予算、28年度各種会計当初予算など46議案を原案のとおり可決しました。予算審査は、予算審査特別委員会（委員長 關孝議員、副委員長 佐々木幸一議員）を設置し付託。また、施政方針に対し、5会派から代表質問が行われ、14人の議員が一般質問を行いました。

## 平成28年定例会2月定期議会での審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名	議決結果	賛成	反対	採決結果																									
				熊谷和弘	日下俊	佐々木幸一	氏家英人	工藤淳子	浅野敬	関孝	伊藤吉浩	中澤宏	佐々木一	及川昌憲	佐藤尚哉	伊藤栄	浅田修	佐藤恵喜	田口久義	田口政信	相澤吉悦	熊谷憲雄	及川長太郎	庄子喜一	二階堂一男	八木しみ子	岩淵正宏	沼倉利光	
平成28年度一般会計予算	可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度病院事業会計予算	可決	18	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
登米市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決	13	9	○	○	×	欠	×	○	×	欠	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議
登米市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	16	6	○	○	×	欠	×	○	×	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
海洋センター条例の一部を改正する条例について	可決	16	7	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議
副市長定数条例の一部を改正する条例について	可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平岡沼ふれあい公園隣接地に市営パークゴルフ場の整備を要望する請願	可決	23	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※採決結果欄 (○)は賛成、(×)は反対、(欠)は欠席、(議)は議長。

## 総括質疑

浅野 敬議員

### 積極財政を

現在、日本の金融状況は超低金利の施策が取られている。将来負担を考えても、思い切った投資をしてもよいと考える。

投資の方向性は、多くの市民が恩恵を得る産業政策が第一で、個別事業は、新庁舎建設と市民病院の建て替え、学校統合と考える。これらを見据え、積極財政を進めるべきでは。

① 少子化問題などで、現在、学校統合の取り組みが行われつつある。そのような環境を含め、必要な取り組みには投資をしなければならぬと考える。

また、産業振興に対する投資は大切だが、塩漬け状態など将来に禍根を残してはならない。しかし、情報収集は、これまで以上に積極的に行いながら、必要な投資に向けての備えを怠ることはあってはならないと考える。

# 新年度予算を厳しくチェック



予算審査を進める関委員長

## 一般会計

### 歳入

- Q 地方交付税が3億3000万円増えているが。
  - A 一般廃棄物第二最終処分場整備事業で6億7000万円が増加した結果である。
  - Q 軽自動車税にかかる税収を25%増とした理由は。
  - A 税額改定により軽四輪の税額は約1.5倍になる。
- また、原付バイクなどの税額も増となることからそれらを見込んでいます。

### 歳出

- Q 総務費
- Q 国際交流費随伴特別旅費500万円の内容は。
- A サウスレイク市との姉妹都市提携10周年となり、サウスレイク市で記念式典が予定されている。市長をはじめ、訪問団8人分の旅費である。
- Q 移住定住促進事業はインパクトが小さいのではないかと、政策の周知方法は。
- A 本市に移住する際の住ま

いサポートは、最大100万円になるというのが特徴だが、一目で分かるようなパンフレットなどを作成し、広報に努めたい。

Q 選挙年齢が18歳になったことへの選挙啓発予算がないが、どう考えているのか。

A 予算化はしていないが、高校へ出向き、選挙制度や投票に関する講座を実施する。

また、大型商業施設での期日前投票所の設置についても検討したが、課題が多く実施できる状況にない。

### 民生費

- Q (仮称) 中江認定こども園は100人の定員だが、その区分は。また、利用申し込みはどうなるのか。
  - A 保育所80人、幼稚園20人という区分けである。
- また、申し込みは、事業者と利用者の契約だが、市で利用調整を図る。
- Q 今年度からの「介護職員初任者研修等受講支援事業」

### 農林水産業費

- Q 汚染稲わらの一時保管に要する経費が昨年の倍以上となっているが、その要因は。
- A 28年度に保管庫の補強工事を予定しているためである。

### 商工費

- Q 地元中小企業の活性化への本市の考えは。
- A 企業活動の基盤である資金調達を支援することだと考えている。

### 土木費

- Q 29行政区への小型除雪機の配備はどのように決めたのか。
- A 302行政区へアンケート調査をし、299行政区から回答を得た。その中で、管理や運転など、市の条件に合う65行政区の中から、今回は学校周辺の行政区を抽出して決定した。

### 教育費

- Q 庁舎建設構想到図書館の整備が突然出てきたが、構想はあるのか。
- A 25年頃から教育委員会で



導入される小型除雪機

## 討論

策定し図書館協議会に諮問している。複合施設の中で整備を進めていきたい。

### 反対討論

高過ぎる国保引き下げのための一般会計繰入がされなかったことは問題だ。栗原市で実施している小中学校の少人数学級になぜ取り組まないのか。低賃金の臨時、非常勤の待遇改善、正職員化を求める。新庁舎計画は市民の声に背くもの。白紙撤回をもとめる。

佐藤 恵喜 議員

### 採決

起立多数で原案可決

## 28年度当初予算の主なもの

- 旧宮城県米山高等学校跡地取得事業 3億1,276万円
- シティプロモーション推進事業 3,440万円
- 移住・定住促進事業 3,809万円
- 認定こども園等施設整備事業 2億9,149万円
- 一般廃棄物第二最終処分場整備事業 11億1,340万円
- (仮称)新クリーンセンター整備事業 5億747万円
- 三陸道パーキングエリア「道の駅」整備事業 5億911万円
- 新登米懐古館整備事業 1億381万円
- 長沼ポート場クラブハウス整備事業 3,000万円
- 工業団地整備事業 8億1,293万円



現在の中江保育所

## 特別会計・企業会計

- Q (仮称)長沼第二工業団地ならびに(仮称)登米インター工業団地、それぞれの総事業費と敷地面積は。
- A 長沼工業団地については平場面積6.3haで総事業費12億9600万円。登米インターは、3ha。総事業費5億4300万円。売却は、どちらも平方メートルあたり1万2000円程度と考えている。

- Q 水道関係で登米市第二次総合計画期間10年での総投資額はどのくらいを見込むか。
- A 現在取得した資産の金額は400億円である。50年の耐用年数と見れば最低10億円を見込む。

- Q 本年度の病院事業の予算状況は、純利益で10億円の赤字を見込み、さらに欠損金で135億円という予算構成になっている。現状と合致していないので、組み替える必要があるのではないかと。
- A 予算編成にあたり、その実効性を確保し、医師招聘の取り組みなどもしっかりと進めていく。



造成工事が進む(仮称)長沼第二工業団地

# 副市長を2人制に

**副市長定数条例の改正**  
トップマネジメント体制を強化し、市政への重要な施策課題に戦略的に取り組むため、副市長を2人制にするもの。

**Q** なぜこの時期での提案なのか。  
**A** 協議が整ったのが、今回のタイミングであった。

**Q** 副市長2人制の役割は。  
**A** 第二次総合計画や少子高齢化など、地域のさまざまな環境に対する課題への取り組みを考えている。

## 討論

### 反対討論

政策、課題について力を借りるとのことだが、合併以来、これまでも震災復興など事業に取り組み環境整備をしてきている。  
引き続き職員と協力し、副市長1人体制で頑張ってもらいたい思いから反対。

相澤 吉悦 議員

**採決** 起立多数で原案可決

## 人事

副市長の選任に同意

栗山 健作氏



【略歴】  
昭和53年生まれ  
佐賀県出身

平成17年4月に国土交通省に入省。  
道路局有料道路課、河川局治水課の係長、道路局企画課長補佐、内閣府社会基盤担当参事官補佐などを歴任。

教育委員会委員の任命に同意

島山 信弘氏(東和)

## 海洋センター条例の改正

指定管理者による管理が行えるようにするもの。

**Q** 平成21年に指定管理者制度を否決している。以前に比べて何が改善されたのか。  
**A** 迫、中田、米山の3カ所を一つの指定管理者で運営することで、施設の相互活用、利用者の利便性も向上が図られる。

## 討論

### 反対討論

一元化しての指定管理は、郷土のまちづくりに逆行する政策であり反対。

庄子 喜一 議員

**採決** 起立多数で原案可決



米山B&G海洋センター

「登米市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」と「登米市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例」の改正

特別職の国家公務員の給与改定が行われたことを踏まえ、議員および市長、副市長、教育長の期末手当の支給割合を、現行の年2・95月分から0・2月分引き上げ、年3・15月分とするもの。

**Q** 非正規職員の賃金・報酬の改定はどうなるのか。  
**A** 臨時、非常勤などは、一般職員の若年層と同様の増額改定を行う。

## 討論

### 反対討論

依然として市内の経済情勢は厳しい状況が続いている。また、正職員を減らし、非正規職員を増やすなど厳しい賃金状況の背景もある。引き上げをする環境にはない。

佐藤 恵喜 議員

**採決** 起立多数で原案可決

登米市職員の給与に関する条例及び登米市一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の改正

一般職員や再任用職員の給料表などを国と同様に改定し、平均で0・4%の引き上げを行う。  
また、ボーナスの支給割合を0・1カ月分引き上げるもの。

**Q** 改定前と比べ、全体でどれくらい増額になるのか。  
**A** 給与や諸手当などで4584万円の増額予定である。  
**Q** 指定管理者の給与も考えるべきではないか。  
**A** 指定管理者の給与は、国税局の調査数値を基にしている。別の視点で考えたい。

子どもの医療費助成に関する条例等の改正

子ども医療費、母子・父子家庭医療費、心身障害者医療費助成に係る登録者の更新手続きの負担軽減と事務の効率化を図るもの。  
受給資格の有効期限を1年とし、保護者が更新手続きを行わなくても、受給資格者証を交付できるようにする。



平筒沼

## 請願審査

平筒沼ふれあい公園隣接地に市営パークゴルフ場の整備を要望する請願

審査を教育民生常任委員会に付託。  
本請願名からは、平筒沼にパークゴルフ場の整備を要望していることと受け取ることができる。しかし、請願の主旨は「さまざま視点を持って再評価を求める」となっている。

このことから、願意である「再評価」を主眼に採択すべきであると委員会報告がされた。  
その後、本会議において、採決が行われ、起立多数で採択された。

## 27年度補正予算

情報システムセキュリティ強化事業  
1億3608万円

近年、サイバー攻撃が急速に複雑巧妙化している。特定個人情報に係る情報セキュリティ対策の強化を図るためシステム整備を行うもの。

**Q** 事業の内容と財源は。  
**A** IDとパスワードに生体認証システムを導入する。ほぼ一般財源であり、国に財政支援を求める。

(仮称)中江こども園用地取得事業  
1721万円

民設民営による(仮称)中江こども園を整備するため用地を取得するもの。

**Q** (仮称)中江こども園はどこに整備するのか。  
また、2カ所目の建設予定地は。  
**A** 登米中央商工会がある敷地内に、100人の定員で30

年に開所予定である。  
2カ所目は迫児童館の敷地内を予定している。



認定こども園の整備予定地(佐沼上舟丁地内)

農地中間管理事業  
8064万円

担い手への農地の集積・集約化を推進し、農用地利用の効率化および高度化の促進を図るもの。

**Q** 基盤整備区域外にある小区画の田の受け手が見つからない状況にある。地域の事情にあった事業はできないか。  
**A** 最近では規模・面積が少なくても県営、団体営で取り組む手法が可能となった。さらに柔軟な活用ができるよう、県に働きかけたい。

## 企業立地奨励金

△7145万円

創業したが、本稼働年度が遅れたことと、雇用人数が交付要件に満たなかったなどから減額するもの。

## 工事請負契約の締結

(仮称)新クリーンセンター用地造成工事

【契約金額】  
5億4864万円

【契約の相手】  
只野建設・日進運輸建設特定建設工事共同企業体

とめ市議会だより 第45号  
平成28年5月1日発行

総務企画常任委員会

進む、集会施設の民間譲渡  
目指す、市民の利便性の向上

○12月定期議会所管議案および補正予算について  
(12月8日調査)

12月定期議会所管議案および補正予算の内容を調査し、課題などを整理、検証した。企画部では、18年度に定めた集会施設適正化推進計画に基づき、現在、集会施設として



津山本町3・4丁目多目的集会所

て利用されている津山町内の4集会所を関係町内会などへ無償譲渡することとした。28年4月1日時点では、市所有76集会所のうち「指定管理」が4施設、「直営管理」が4施設となる見込みであり、今後も譲渡可能な集会所は、順次無償譲渡が進めら

れていくことになる。

しかし、市内302行政区などが利用する集会所は「所有」「整備」「管理」の形態がそれぞれ異なっているため、委員会としては「指定管理が望ましいのか」「直営によるべきか」などの判断が難しい。今後は、利用形態など「施設の全体像が把握できる資料」を作成、整理されたい。総務部では、議会での一般質問を受け、市民が提出する申請書などへの押印の必要性について調査、見直しを行うこととした。行政手続きの簡素化を進めることで、市民負担の軽減と利便性の向上を目的とし、28年4月1日からの施行を目指す。今後も改善に努力された

い。消防本部では、28年4月1日の供用開始を目指し、現在、消防救急無線のデジタル化と消防指令センター機器改修工事を進めている。11月30日現

在での進捗率は80%であり「予定通りである」との報告を受けた。市民の生命と財産を守るための整備を、今後も安全第一で工事を進められたい。

○意見交換会に係る市民意見に対する内容調査  
(12月9日調査)

議会基本条例に基づき実施している「市民と議会との意見交換会」で、当委員会所管事務関係には39項目の意見や要望、質問が寄せられた。内容は、多岐に渡るが「これからの納税組合のあり方」や「集落支援員制度の状況」について、今後、意見交換会を実施するなど調査を行うこととした。

○その他の主な調査事項  
。所管事務調査事項について  
。陳情の取り扱いについて

教育民生常任委員会

パークゴルフ場  
市民・利用者の  
視点で建設を



加護坊パークゴルフ場

○市立幼稚園・保育所の再編方針(案)に係る民設民営の考え方について  
(11月17日調査)

市は、「民設民営を第一」としているが、受け手となる民間事業者がいなければ、公設民営、公設公営(直営)も考えなければならぬ。また、保育士の確保も大きな課題である。

「認定こども園」について、当初計画では、施設整備も含めて27年4月からのスタートであったが、ここまで遅れた要因は、保育所を担当する市民生活部と幼稚園を担当する教育委員会の連携不足にある。「認定こども園」となった場合、福祉事務所の担当となるが、今後もなお一層、連携できる体制を確立すべきである。

○登米市パークゴルフ場の整備について  
(11月19日調査)

市パークゴルフ場建設市民

会議からの建議を受け、整備方針(案)が示された。規模は「全体で6コース、54ホールを基本」とし、建設場所については「市民が利用しやすい場所であること」、施設整備については「利用者の視点を中心に、過大な施設整備にならないこと」、その他「3世代が楽しみながらプレーできる施設」としている。この整備方針に適した建設場所の選定、整備を望む。

○新懐古館移転整備について  
(11月19日調査)

登米懐古館について、当初の「市全体を網羅する歴史資料館」から「登米伊達家および仙台伊達家に関する資料を主とする武家文化の紹介施設」として移転・建て替えをする方針に変更された。

施設の規模、事業費、学芸員の配置や運営方法、ランニングコストなど検討中であることから、必要に応じて、委員会へ報告と相談を求め



建て替え予定の登米懐古館

それぞれの施設の活用についての方向性が示されているが、具体的にどう展示・活用していくのかを示すよう求める。

○その他の調査事項

- ・登米地方保育所協議会との意見交換
- ・学校再編の基本方針等について
- ・米谷病院整備事業に関する経過報告について
- ・一般廃棄物第二最終処分場の整備進捗状況について

# 広報広聴委員会行政視察報告

## 意見交換を実施 都市計画は継続調査

**親しまれ読まれる  
議会だよりを目指して**  
(1月19〜20日視察調査)

▼**埼玉県戸田市**  
戸田市の議会広報委員会は10人で構成。フルカラーの議会だよりを発行している。「こただ議会だより」は、議会の動きを市民に伝える重要なメディアと捉え、結果を伝えるだけでなく、やさしい言葉づかいや写真・図などを活用し、わかりやすく、親しまれ、そして役立つ議会広報を目指し取り組んでいる。

また、広報の題字「こただ」を毎号、市内の小・中学生に書いてもらったり、議会の仕組みを説明・紹介する「議会を知っとこ」やクイズを掲載するなど、市民の皆さんに手に取って読んでもらえるよう工夫を凝らしていた。

▼**静岡県長泉町**  
長泉町の広報広聴委員会は8人で構成。フルカラーの議会だよりを発行している。「議会ながいずみ」は、町村議会広報全国コンクールで



長泉町議会広報委員と意見交換

「特別優秀賞」や「表紙フォトグランプリ賞」を受賞している。

表紙写真は、子どもたちがメインとなっており、表情が豊かで引き付けるものがあった。

掲載内容は、一般質問で質問されたことが、その後どのようなになったか「追跡」や住民の要望や意見を掲載する「期待しています」、転入者の声を掲載する「まちかどインタビュー」など多彩な企画記事が掲載されている。

視察したそれぞれの議会は、住民目線で工夫し、親しみやすい議会だより編集に取り組んでおり大変参考になった。



登米市産業振興会との意見交換会

○**12月定期議会補正予算調査**  
(11月27日調査)  
環境保全型農業直接支払事業、空き店舗活用事業では、当初見込みを超える事業活用要望があり、その不足額を補正するものだが、空き店舗活用事業では、その成果を分析し、施策の検証を図りたい。

○**登米市産業振興会との意見交換**  
(11月27日調査)  
企業側から、求人を出して

災害公営住宅第二住宅は入居者同士の交流を重視し長屋式で建設されるが、プライバシーの確保という点で、防音などに十分配慮されたい。

# 福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会

**放射能に汚染された農林産物(ほだ木)および牧草の取り扱いを調査**  
(3月16〜17日視察調査)

▼**岩手県遠野市、岩手町**  
遠野市、岩手町においては、放射能の影響を受けた一般廃棄物の焼却処理に向けた取り組みを実施していた。

一般廃棄物は、遠野市では市有地や工場跡地で保管している。岩手町では利用自粛牧草等処理円滑化事業県補助金を活用し、町営牧場の未利用地に一時保管している。どちらも集中保管体制を整えており、住民への負担をできる限り軽減するよう対応している。

また、遠野市では原木しいたけのほだ木をチップ化し保管するなど減容化にも取り組んでいる。

本市の状況とは違うところもあるが、解決に向けた取り組みを実行していることは、評価するところである。

特に、本市では一般廃棄物の個人保管の現状もあり、早急な対応が必要と考える。牧



遠野市の取り組みを調査

草のしつかりとした保管と集中管理が望まれる。

宮城県は一般廃棄物の処理を優先させる方針を示した。特別委員会としても、調査研究を重ね、国による指定廃棄物処理とあわせて一般廃棄物の処理を早急に実施するよう強く求めていきたい。

も人材が集まらないという現状が報告された。移住・定住の観点からも雇用政策は重要であることから、市の広報紙を活用して企業情報を紹介するなど、積極的に雇用確保を支援する必要がある。

○**(株)DIO・ジャパン関連子会社調査結果への対応**  
(12月8日調査)  
本件の損害は、企業による放漫経営などが起因であり、市の事務上の過失によるものではない。

よって、被害者である市が返還命令を受けることのないよう、厚生労働省などへ意見書を提出する。

○**登米市都市計画、三陸自動車道(仮称)登米PA・IC工事の進捗状況について**  
(12月8日調査)  
都市計画道路として整備がうたわれている迫川に架かる新しい橋、萩洗平柳線の整備予定地を現地調査。

○**陳情書の取り扱い**  
(12月9日調査)  
最低賃金の引き上げについて、労働者側としては必要であると認識するが、雇用の立場を考えると、この実現には国の制度設計が必要不可欠であることから、意見書の提出は見送る。

○**登米市都市計画について**  
(12月9日調査)  
中心市街地への交通集中と渋滞緩和を図るために、内環状道路の早期整備は必要。

また、都市計画マスタープランには本来含まれているべき都市施設建設が含まれておらず、現状のまま未来を描くことは不適當である。よって今後も継続して調査していく。

# 会派代表質問

2月定例議会において、市長から28年度の施政方針が示され、5会派の代表が質問をしました。内容を要約してお知らせします。

## 問 地域包括ケアシステムの充実を

### 答 責任をもって前に進める



会派 新・立志の会  
田口 久義 議員

**問** 団塊の世代が後期高齢を迎える2025年問題を乗り切るには、介護・医療・福祉・保健各分野の連携による地域包括ケアシステムの充実が至上命題と考えるが。

**答** 地域包括ケアシステム体制推進会議や在宅支援診療所の医師の助言をいただくなど、各分野の専門職間で課題を出し合い進めている。

**問** システムづくり成功の秘訣は、市長や病院事業管理者など、トップ自らが腰を上げて取り組む

**答** べきではないか。

**答** しつかりと各分野の連携が取れるよう責任をもって関わりを進める。

**危険空き家の措置を**

**問** 施政方針における空き家対策は、危険空き家について触れられていない。危険な空き家対策を積極的に進めるべきでは。

**答** 市内の空き家809件のうち、倒壊の恐れがある空き家55件を再調査。そのうち周囲に影響を与える可能性のある空き家21件に、適正な管理を求め

める通知を発送している。

**副市長を2人制に**

**問** 副市長を2人制にし、1人を政策担当に。市長は国への陳情やトップセールスに力を入れては。

**答** 施策課題に戦略的に取り組むため検討する。政策担当制も考える。

**その他の質問**

- 産業振興策について
- 公共施設建設木質化の説明責任について

## 問 新農業振興ビジョンの指針は

### 答 本年3月の策定に向け進める



会派 絆  
及川長太郎 議員

**問** 新たな農業振興ビジョンについて伺う。

**答** 「意欲と能力のある担い手を育てる」、「生産基盤と農村環境を整える」、「安全安心な農作物を作る」、「地域の持ち味を生かす」、「都市農村交流で繋げる」を目標に掲げ、農業関係団体などの意見を踏まえ、計画案を取りまとめ中である。

今後、農政審議会への諮問を経て、本年3月の策定に向け、作業を進めている。

**問** 雇用の場の確保は。

**答** 工業団地が完売し、新たに2カ所の団地完成を目指している。

**問** 繁殖素牛貸付制度の改正が必要では。

**答** 後継者貸付牛については、市単独事業なので検討する。

**学校教育と教育環境整備**

**問** 小・中学校の統廃合の方向性と必要性は。

**答** 小学校では、クラス替えを可能にしたり、同学年複数教員を配置するには、1学年2学級以上。

複式学級の解消には、1学年1学級以上が望ましいが、各学年が2学級にならない場合でも、旧町域に1校は配置を検討する。

中学校でも、1学年2学級以上。また、教科担任による学習指導などを行うには、1校あたり9学級が理想。

**問** 陸上競技場の整備は。

**答** 第二次総合計画実施計画において、29年度に基本計画を作成。30年度に用地買収し、実施設計を行う。

## 問 今こそ重要、地域の主体

### 答 本市視点で総合戦略推進



会派 登米みらい21  
及川 昌憲 議員

**問** 地方創生が加速化してきた。全国市区町村1741のうち1000以上が総合戦略を策定した。石破大臣は、地方創生は実行の段階に入ったと唱える。これまで、多くの自治体がプレミアム商品券などにぶら下がってきた。さらに地方消滅論に危機感をあおられて自治体が参戦せざるを得ない環境づくりが進んだ。

登米市の政策が国のものまねであってはならない。地方自治体は、主権

分権を強く訴えてきた。今こそ重要な時である。

地方の主体性、個性を土台に据えた地方創生戦略が求められるが、市長の考えは。

**答** 「第二次総合計画」の重点戦略をベースに「少子化・健康長寿」、「雇用・定住」、「魅力向上・交流」の3つの視点により「登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。

本市が独自に取り組んできた農業をはじめとす

る産業振興、自然環境やスポーツイベントを活用した交流、子育て負担の軽減、協働による地域づくりの継続。さらにシテイプロモーシオンや移住・定住対策などの新たな施策を盛り込んだ。

主要業績指標、主な施策については、本市が独自に定めたものである。今後、総合戦略に掲げた施策の推進に当たっては、本市の視点で取り組んでいく。

## 問 新国立競技場建設に登米市産材を

### 答 森林認証を取得し積極的に取り組む



会派 登米フォーラム  
庄子 喜一 議員

**問** 新国立競技場のデザインは、本市の「森舞台」を設計し、日本建築学会賞を受賞した隈研吾氏の「木と緑のスタジアム」が採用された。氏のデビューは正に「森舞台」である。「建築を通じて震災復興を支援する」としており、本市と縁もあることから市内産材の活用につなげるべきでは。

**答** 使用木材の条件は、国際的な森林認証および製材工場も認証を受ける必要がある。関係者と協議し取得に向け取り組む。

**問** 競技場の座席に矢羽集成材のアピールを。

**答** 併せて積極的に取り組む。

**子育て支援の方策は**

**問** 産科、小児科医療体制の充実をいかに図るか。

**答** 5名以上常勤医がいらないと入院治療は原則しないのが東北大学医局の方針なので、入院再開は厳しい状況である。今後大崎市民病院、石巻赤十字病院との連携を密に役割分担を行い、産科、小児科の医療確保を図る。

**問** 医学奨学生への勤務予定は。

**答** これまで23名に貸し付けし、現在1名が勤務している。卒業し、研修中が10名、在学中が8名、辞退が4名。

専門医志向の時代で、キャリア形成のため、今後数年かかると考えている。

**その他の質問**

- 移住・定住の促進支援策
- 交流人口増大の方策
- ふるさと納税で魅力発信
- TPP発効への戦略は



# 一般質問

## 市政

# こころが聞きたい

### 問 議会タブレット導入事業について

### 答 導入効果を期待している



相澤吉悦 議員

**問** 議会にタブレット端末を30台導入する計画がある。タブレット端末を議会および議員活動に積極的

**答** 議会にタブレット端末を30台導入する計画がある。タブレット端末を議会および議員活動に積極的

**問** 導入経費は、本体お

**答** 導入経費は、本体お

一般質問は、2月18日から4日間、14人の議員が登壇し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。  
(紙面の都合により内容を要約してお知らせします)  
※ 議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

### どこまで進む職員削減

**問** 職員の削減はどこまで進むのか。

**答** 合併時からの削減数は、407人。今後は、60人程度の削減で推移する。

**問** 残業は毎晩のように行われている。職員が足りないからではないか。

**答** 所属を越えた応援体制を整えるなどの対応をとるよう指示している。

### 問 過酷な負担の国保税引き下げを

### 答 負担が重いことは認識している



会派 日本共産党市議団  
佐藤 恵喜 議員

**問** 負担能力を超える高い国保税。給与収入312万円、40歳以上の夫婦と未成年の子供2人の場合、本市の国保税は38万1100円。給料の約1.5か月分だ。あまりにも過酷な負担だ。市長はどう考えているのか。

**答** 負担が重くなっていることは認識している。2015年度モデル世帯と比較した本市の国保税の県内順位は、高い方から8番目である。

**問** 負担能力を超える高い国保税。給与収入312万円、40歳以上の夫婦と未成年の子供2人の場合、本市の国保税は38万1100円。給料の約1.5か月分だ。あまりにも過酷な負担だ。市長はどう考えているのか。

### 議会の動き

- 1月
  - 6日 広報広聴委員会
  - 8日 広報広聴委員会
  - 12日 会派代表者会議
  - 12日 議会運営委員会
  - 15日 正副委員長会議
  - 15日 各常任委員会
  - 15日 議会改革推進会議
  - 18日 広報広聴委員会
  - 19日 広報広聴委員会行政視察（～20日）
  - 21日 広報広聴委員会
  - 22日 庁舎建設に関する調査特別委員会（小委員会）
  - 25日 大崎市議会行政視察来庁
  - 28日 全員協議会
  - 29日 議会運営委員会
- 2月
  - 1日 教育民生常任委員会
  - 2日 角田市議会行政視察来庁
  - 2日 福岡県久留米市議会行政視察来庁
  - 3日 産業建設常任委員会
  - 4日 各常任委員会
  - 8日 総務企画常任委員会
  - 8日 教育民生常任委員会
  - 9日 教育民生常任委員会
  - 12日 庁舎建設に関する調査特別委員会（小委員会）
  - 15日 教育民生常任委員会
  - 15日 産業建設常任委員会
  - 17日 議員研修会
  - 17日 教育民生常任委員会
  - 24日 各常任委員会
  - 26日 教育民生常任委員会
  - 26日 議会運営委員会
  - 29日 庁舎建設に関する調査特別委員会（小委員会）
  - 29日 議会改革推進会議
- 3月
  - 1日 各常任委員会
  - 2日 議会運営委員会
  - 14日 庁舎建設に関する調査特別委員会（小委員会）
  - 16日 福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会行政視察（～17日）
  - 18日 教育民生常任委員会
  - 18日 産業建設常任委員会
  - 23日 議会改革推進会議
  - 23日 議会運営委員会
  - 28日 広報広聴委員会
  - 29日 特別議会



### 問 仙台学寮の建て替えを

#### 答 現時点では難しい



伊藤 栄 議員

**問** 昭和26年、当時の登米高等学校校長が人材育成を念願し、仙台周辺の大学等に進学をする生徒

を支援するため、仙台学寮を創設。その後、旧登米町に寄贈、昭和57年に改築され、現在に至っている。自治体での学寮の所有は県内ただ1カ所である。

しかし、現在は、相部屋、共同風呂、トイレなど、現代の学生からは敬遠される学生寮となつている。本市から仙台圏域で学ぶ学生の支援と人材育成という観点で新築を望むが。

**問** 3年前にも質問したが、地元の警察署で免許更新ができるよう関係機関に働きかけを。



老朽化が著しい登米仙台学寮

**答** 施設の老朽化により定員割れや中途退寮が続いている状況である。現在の入寮生が卒業を迎える平成30年度をもって、役目を終えたいと考

**答** これまでの経緯や県警の方針などから難しいと考える。要望については申し入れをし、その可能性などを検討する。

### 問 教育改革初年度の反省と方針を示せ

#### 答 「教育総合会議」を有効に活用する



浅田 修 議員

**問** 小・中学校の適正規模、適正配置に対する見解を示せ。

**問** いじめアンケートの現状分析と課題は何か。

**答** 児童生徒が自分の行動を振り返り、改善するきっかけとなることを期待している。

**問** 整備するに当たって現状と整備方針は。

平成30年秋の開館を目指す。



校庭で遊ぶ子どもたち（豊里小・中学校）

### 問 長沼ダムの水質浄化をどう進める

#### 答 長沼ダム利活用会議の中で進める



二階堂一男 議員

**問** 平成29年度の高校総体や32年度の東京オリンピック、パラリンピックを見据え、長沼ダムの競

環境向上を図る上で、水質浄化は欠かせない。ハスの刈り取り以外にも対策が必要と考えるが。また、長沼川の水質浄化の取り組みは。

排水の流入などが要因。さらなる合併処理浄化槽による生活雑排水対策やハスの刈り取りを推進していく。

**問** 健康づくりマイレージ事業の積極的推進を。

**問** 新庁舎は一時凍結か。

**答** 新庁舎の建設は第二次総合計画の基本理念に掲げた「協働による本市の継続的な発展を目指すため、まちづくり」を進めるための拠点を整備するものである。



水質浄化で日本一のポート場に！！

### 問 平成28年施政方針の肝は何か

#### 答 人口減対策に政策総動員へ舵



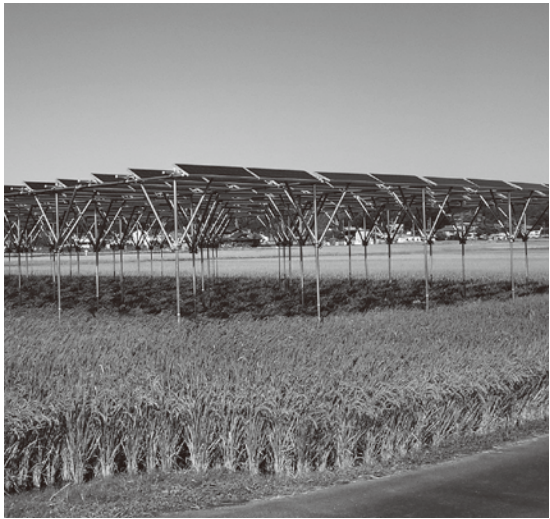
浅野 敬 議員

**問** 「登米市の基幹産業は農業」とは本当か。

額、就業者数等で比較なら他産業が圧倒的に多い。その多くが自己責任で経営する商工・サービス業への支援を適時・的確に考えるべきである。農業が基幹産業というお題目だけ唱えていれば済む時代ではない。農業が有望な産業として、今後成長できる施策の展開に挑戦

**問** 汚染稲わらの解決は。迷惑と不安を与え続け申し訳なく思っている。最優先の課題であり、国の責任において解決するよう強く働きかける。

**問** 総合支所のあり方、複合施設としての検討および都市計画マスタープランなど、他の計画との整合性を図り、市民の理解が得られるよう、説明の機会を設けて進める考えである。



下で農作物100億円、上で発電300億円  
※写真：(一社)ソーラーシェアリング協会



築館陸上競技場（栗原市）

**問** 以前に陸上競技場の設置場所について協議されたが、その場所と広さは。



日下 俊 議員

**答** 登米市スポーツ推進審議会にて中田総合体育館周辺と佐沼高校第2グラウンド付近の2カ所を候補地として絞り込んだ。広さは6万平方メートルと想定。

**問** 将来を担う子どもたちのための陸上競技場建設は、合併協議会からの関わり、パークゴルフ

**答** 公認4種の陸上競技場を優先した理由は、施設整備の検討具合や市民ニーズなど、その熟度を検討した上で事業化の判断をし、パークゴルフ場建設を優先した。陸上競技場の設置は、平場を想定。検討に時間がかかる。

**問** 第二次総合計画では、陸上競技場建設概算費9億2千万円を計上している。全体像はどのようになっているか。

**答** 既存の体育施設との兼ね合いも含め、陸上競技場が果たす役割を見直し、必要最低限の公認4種にしたいと考えている。

**問** 伝統芸能伝承館「森舞台」は能の上演などで1年を通して観光客が訪れている。建築設計を担当



熊谷和弘 議員

**答** 好機と捉え、観光客誘致に繋げる

**問** 「森舞台」を観光と交流拡大の柱に

**答** 建築物としてのすばらしさ、そして「登米能」の魅力と併せ、市内外に発信し、観光客誘致につなげる。また、関係団体などと連携、調整の上、点検・整備を進める。

**問** 「ひきこもり」の社会復帰支援

**答** 現役世代の不就労者・引きこもりの増加は高齢家庭の負担となっている。また、本人の高齢化も進み、生活困窮に至る世帯となることが予想される。まず、対策として

**問** 陸上競技場の設置はどうなった

**答** 平成31年度中の完成を目指す

当したのは新国立競技場のデザイン案が採用された隈研吾氏である。また、能舞台の壁画を制作したのは日本を代表する画家千住博氏である。

この機会を観光の交流人口拡大につながる好機と捉え、案内表示板の点検や見直し、駐車場整備の考えは。

望者が約200人、実際の就職者は80人。市内の企業では募集しているが来ないということである。ハローワークとは別に、市からも就職情報を発信し、本人だけではなく、家族の目に触れ、話し合える取り組みを仕掛ける必要があるのではないか。

**問** 総合診療医の育成・確保を急げ

**答** 情報を得やすいという点も就職の入口になる。担当部署の体制強化も含め、重点的な取り組みを考えていく。

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**答** 施設整備の検討具合や市民ニーズなど、その熟度を検討した上で事業化の判断をし、パークゴルフ場建設を優先した。

**問** 好機と捉え、観光客誘致に繋げる

**問** 「ひきこもり」の社会復帰支援

**問** 総合診療医の育成・確保を急げ

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**答** 施設整備の検討具合や市民ニーズなど、その熟度を検討した上で事業化の判断をし、パークゴルフ場建設を優先した。

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**答** 施設整備の検討具合や市民ニーズなど、その熟度を検討した上で事業化の判断をし、パークゴルフ場建設を優先した。



診察の様子（登米市民病院）

**問** 病院事業全体で4月に医者は何人減るのか。

**答** 現在、歯科医師1名を除き常勤医は36名。7名が退職し、3名補充で4名減る。

**問** 施設方針で示した、総合診療医の育成確保をどのように実現するのか。

**答** 東北医科薬科大学のサテライトセンターを通じて医師の確保については、指導医の常駐はあ

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**答** 施設整備の検討具合や市民ニーズなど、その熟度を検討した上で事業化の判断をし、パークゴルフ場建設を優先した。



中澤 宏 議員

**問** 総合診療医の育成・確保を急げ

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**答** 施設整備の検討具合や市民ニーズなど、その熟度を検討した上で事業化の判断をし、パークゴルフ場建設を優先した。

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**答** 施設整備の検討具合や市民ニーズなど、その熟度を検討した上で事業化の判断をし、パークゴルフ場建設を優先した。

**問** 総合診療医の育成・確保を急げ

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**答** 施設整備の検討具合や市民ニーズなど、その熟度を検討した上で事業化の判断をし、パークゴルフ場建設を優先した。

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**答** 施設整備の検討具合や市民ニーズなど、その熟度を検討した上で事業化の判断をし、パークゴルフ場建設を優先した。

**問** 施設方針で掲げた重点目標は、10年間で出生者6千人以上、移住定住者1千人以上、交流人口



岩淵正宏 議員

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

**問** 陸上競技場の設置を優先した理由は、

310万人以上を達成するために28年度は何をするのか。

**答** 市の25、26年の平均出生者は560人で、年間40人増を見込み600人とした。出会いイベントの開催や第3子以降への誕生祝い支給など、子育て支援の充実を図る。企画部内に移住定住促進

**問** 若年層の流出抑制を

**問** 若年層の流出抑制を

**問** 若年層の流出抑制を

**問** 若年層の流出抑制を

**問** 若年層の流出抑制を

**問** 一步踏み込んだ戦術を

**問** 一步踏み込んだ戦術を

**問** 一步踏み込んだ戦術を

**問** 一步踏み込んだ戦術を

**問** 一步踏み込んだ戦術を

**問** 一步踏み込んだ戦術を

**問** 一步踏み込んだ戦術を



多くの人たちに就業の機会を

問 安心して暮らせる地域を

答 横断的な連携で効果的施策を推進



佐々木幸一 議員

問 生活保護の受給率や就学援助費の支給割合、「ともまち登米」での相談状況などから、生活困

窮の現状をどう見ているのか。  
答 生活保護世帯は横ばいで推移。就学援助費は国・県の平均を下回っているが、増加傾向にある。子どもの貧困対策は、児童扶養手当の支給、ひとり親家庭の保育所優先利用や保育料軽減、また、医療費助成などの支援を実施している。

問 親から子への貧困連鎖を断ち切るために「学習支援、就労支援」が重要と思うがどう考える。  
答 習熟度別少人数指導や夏休み、土曜日の学習支援、奨学金の充実などの学習支援を行っている。また、ひとり親家庭の親の資格取得を促す事業を実施し、就労支援を進めている。

問 ワーカーに相談することで、生活支援や福祉制度の活用は早期につながっている。  
答 ひとり親家庭への支援と相談体制は、保育料の軽減や医療費助成、また、資格取得のための事業などで支援する。相談は家庭児童相談員が実施する。  
問 子ども食堂、フードバンクの設置支援を。  
答 社会福祉協議会とどのような支援ができるか協議している。



相談窓口 ともまち登米 (迫町佐沼)

問 介護事業の充実を

答 元気な高齢者の担い手を養成



佐藤 尚哉 議員

問 「新総合事業」で要支援1・2の訪問介護と通所介護はどの対応するのか。ボランティアや地

域の支援員の協力と認知症サポーターの体制は。  
答 要支援1・2の人は「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行し、29年4月から開始する。ケアマネジメントの結果、対象から外れた場合はミニデイサービスなどを活用し、医療や介護の専門職が行う介護予防教

室の開催を検討する。また、地域の中で、元気な高齢者が担い手となることで自身の介護予防の効果も期待できる。そのため、4月から日常生活圏域にコーデイネーターと協議体を設置し、地域の実情にあった支援体制づくりに取り組む。また、元気な高齢者やボランティアを対象に、介護職員初任者研修に受講費の一部助成を予定している。さらに、本年4月から地域包括支援センターに

問 市民との協働は。  
答 「協働のまちづくりリーダー養成事業」を創設し、連続講座による人材育成事業に取り組む。  
問 市内での薪ストーブの開発を考えているか。  
答 調査・検討したい。



市内の企業が作った薪ストーブ

問 大震災の復興を忘れてはいないか

答 復興事業は、ほぼ成し遂げられる



関 孝 議員

問 東日本大震災から間もなく5年が経過しようとしている。「震災復興計画」での復興目標は28

年3月である。市長は震災復興について成し遂げたと考えているか。  
答 震災復興計画に登載されている事業について、災害公営住宅を除き完了している見込みである。ほぼ成し遂げられるものと考えている。  
問 施政方針に「震災復興」の言葉がない。市内

には、まだ多くの被災者が生活している。原発事故に起因する汚染稲わら・牧草・堆肥などの処分や観光客の減少など課題が解決されていないか。  
答 全くめどがたたない課題もまだまだある。しっかりと取り組んでいきたい。  
問 27年度当初予算審議で、「小学校用においても登米産の木材を使用し

た学習机・椅子の整備を図ること」とした附帯決議を踏まえ、どのような方針で整備する考えか。  
答 学習机・椅子を全て木製にする場合、新たな開発が必要なこと、開発コストや製品化までの期間を要すること、量産体制の整備などの課題がある。検討の結果、机は中学校で導入したナラ材天板を持ち運びしやすく改良したもの、椅子は中学校同様樹脂製の既製品とした。



建設中の災害公営住宅 (迫西大綱第二住宅)

問 保育水準を後退させない保育制度を

答 質の低下にならないよう努力する



工藤淳子 議員

問 保育施設は、基本的に公設公営で運営すべきと考えるが、だからといって、認定子ども園や小

規模保育事業所が絶対だめということではない。民間の保育園などは、実績もある。民間に任せてそれで終わりということにならないよう、市としての責任をしっかりと果たすことが必要ではないか。  
また、小規模保育事業所がたくさんつくられて

も、深刻な保育士不足により保育が必要な子どもを受け入れができない、保育施設としての環境が十分でないなどの問題がある。量の拡大に質が追いついていない実態ではないか。  
答 子育て支援の充実を図り、質の高い教育・保育を総合的に、一体的に提供するために、認定こども園の設置を推進するもの。質の低下につながるよう努力している。

問 一人ひとりの子どもを大切に、学ぶ意欲を受け止める学校図書館の役割は、今大きく見直されている。図書館に人がいることで、活気がある。利用され、不登校の子どもの心のよりどころにもなっている。学校図書配置の考えは。  
答 地域のボランティアの協力を視野に入れながら、検討していきたい。




散歩中の子どもたち

# あなたの声 市民 メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

### 登米市の未来に向かって



我が登米市においても、農業後継者の育成や市立病院経営は、難しい状況に陥っているように思います。限られた予算の中でいかに成果を上げるか、市政を司る方々の大きな悩みだと思います。

課題に直面した時は、関係する人達が本音で議論し目標に向かって順序立てることが必要です。廻り道に見えますが、着実に目標に近づいていきます。農業も販売高で自立できる経営をテーマに議論すれば、参画する若者も多くなると思います。

また、これからの地域医療は身近にある診療所の役割が大切です。自動車道が整備され「石巻・大崎・一関などの中核病院」へ短時間で行くことができるので、早く診療し、必要に応じて迅速に専門病院への手配を行う必要があります。

本場に必要なら市政の役割について、外部の専門家を交えて議論するように願います。



佐々木智美さん  
(石越)


### スポーツで健康と笑顔を!

私は、石越の登米市総合型地域スポーツクラブに勤務しています。皆さんもご存知とは思いますが、「健康寿命」という言葉を最近よく耳にします。誰でも、家庭や自分のためにいつまでも元気で健康でいたいという願いを持ちながら生活をしていることではないでしょうか。

当クラブの会員の皆さんは年齢を感じさせず、とても元気にハツラツと活動しております。体を動かすこと、人と会い笑っておしゃべりすることが、心も体も元気でいられる特効薬かもしれません。今後も、子どもから高齢者まで幅広い年代の健康づくり、笑顔づくりのお手伝いとして、スポーツ活動の推進に取り組んでいきたいと思っています。

市内の体育施設の老朽化が目立ってきておりますので、市民の健康維持のためにも、施設の充実を図っていただきたいと願います。

### 頼りにしています 議員さん



議員報酬を下げるべきという声をよく耳にします。が、一概にはうなずけないところがあります。

先頃あった有名カレー店の廃棄物事件やスキーパーの痛ましい事故など、度を越す安さ追求が社会を歪める例は挙げればきりがありません。今、価値に見合う真つ当な対価を支払うという、フェアトレードにも通じる公正な取引を促す土壌が求められていると考えています。

議員報酬が適正か否かを測る物差しは何だろうと考えた時、市民の願いにだけ向き合っているかは、その一つだと思えます。福島の実情を見るにつけ、登米市に住む人の多くは原発に不安を抱いており、その不安は原発がある限り消えないと思います。

市民の不安を解消し、安心して住める町を実現するための対価とすれば、報酬は決して高いものではないと思います。

## 3月特別議会

28年3月特別議会が、3月29日に開かれました。

条例改正1件、補正予算6件のほか、意見書1件、要望書1件を原案のとおり可決しました。

### 登米市立幼稚園授業料徴収条例の改正

子ども・子育て支援法施行令の一部が改正されることから、多世代帯および要保護世帯の負担軽減措置を拡充するもの。

### 27年度補正予算

#### 地方創生加速化交付金 1896万円

国の事業認定があったことから、「大地の恵みと海の幸ビジネスマップ」プロジェクト、「登米市産食材利用促進販路拡大事業」などへ充当する。

#### 病院事業会計 1億5000万円

病院経営の安定化を図るため、一般会計から借り入れるもの。

### 意見書

#### みやぎ県北高速幹線道路の第V期区間の早期事業化促進を求める意見書

みやぎ県北高速幹線道路は本市のみならず、栗原市、気仙沼市、南三陸町、岩手県南地域などの広域連携の基盤となるものである。

高速交通体系のさらなる向上が図られるよう、予算の確保や早期の事業化、三陸縦貫自動車道との相互乗り入れの事業化を要望するもの。



国道398号北方バイパス

## 問 地域医療体制整備と方向性を問う



八木しみ子 議員

登米地域は従来から登米市民病院を軸に公的医療機関として地域住民の医療に大きく貢献して

きた。

しかし、医療を取り巻く環境が複雑に変化し、医療体制はさまざまな課題に直面。身近だった医療が市民には見えにくく、不安な存在となっている。

市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、信頼される病院づくりの現状と課題は、

多様化・高度化する医療需要に的確に対応していくためには、医師の確保対策や救急体制の整備は喫緊の課題である。

大学と連携した医師等の確保、再編・ネットワーク化の推進や救急体制の整備など、地域医療や病院事業が取り組むべき重要課題について検討を重ねてきており、これを基に第3次改革プラン等を今後示す考えだ。

その他の質問  
・協働のまちづくり推進のあり方



医療体制の充実を



## 議員研修会を開催



2月17日、消防防災センターにおいて、議員研修会を開催しました。

国は、地方自治体によるさまざまな取り組みを情報面から支援するため、産業構造や人口動態などに関する官民のビッグデータを集約し、可視化するシステムとして27年4月から提供を開始しています。

この「地域経済分析システム」を活用し、データで見る登米市の姿やシステムの活用事例について、東北経済産業局の総務企画室から講師を招き、政策形成や立案能力の向上を目的に講演をいただきました。

研修には、議員のほか多数の職員も参加しました。

## 議会がらのお知らせ

### 6月定期議会

6月9日(木) 開会予定

**傍聴してみませんか。**

本会議は、簡単な手続き（氏名等の記入）で、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。お気軽においでください。

詳しい議会日程は、議会ホームページや議会事務局にお問い合わせください。



なお、インターネットで議会のホームページから、本会議の様子をご覧いただくことができます。



### 議会のホームページを開設しています。

登米市議会

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

### あとがき

28年4月 東北医科薬科大学が開業した。

サテライト病院として登米市民病院が選ばれた。研修医大生が学ぶ病院として活用される。医師不足の登米市にとって歓迎するとともに、さまざまな波及効果を期待したいし、市外への救急搬送が減少してほしいと願いたい。医療だけでなく介護福祉関連業務についても研修することになる。

議会広報は、ホームページを読まれることは少ないので

はと思いますが、少しでも興味をもってもらえるよう工夫をして紙面を作っています。

(目下 俊)

#### 広報広聴委員会

- 委員長 佐藤 尚哉
  - 副委員長 氏家 英人
  - 委員 熊谷 和弘
  - 〃 目下 俊
  - 〃 佐々木幸一
  - 〃 工藤 淳子
  - 〃 伊藤 栄
  - 〃 二階堂一男
  - 〃 八木しみ子
- 議長 沼倉 利光